



いすじろう通信

2021年度

「第8回JVR養成講座」号

ようこそ！ 栗東自然観察の森へ 第8回JVR養成講座「記念植樹/キノコの植菌」の様子を紹介します。



はじまりの会

2021年度JVR養成講座は、本日の講座をもちまして閉講となります。コロナ禍、配慮しなければならないことがあり、当初の計画通り講座を開催できないこともありました。誠に申し訳ございません。従来であれば、閉講式を迎える予定でしたが、お別れの会として活動時間を短縮して第8回の講座を進めます。はじめに、第27期JVR養成講座の記念植樹、そしてキノコの植菌を行います。



ドウダンツツジ

ニシキギ

モクレン



記念植樹

記念植樹に選んだ樹種は、以下の通り。

- ①ドウダンツツジ
- ②ニシキギ
- ③モクレン

植樹する場所は、ビートルランドの山側の法面になります。道具と苗を運んで作業を進めてください。

作業は、移植する苗の土づくりからはじまり、苗の植え付けができれば水をまきます。この時、苗にしっかり水が行き渡る様に苗の根本は、水鉢ができていないか確認してください。

素敵な花が開きますようにお祈りしましょう☘



記念植樹の苗木は、栗東市緑化推進委員会へ「みんなの森づくり」事業として申請し、森林整備推進を目的とした緑の募金の寄付金から準備されたものです。

3月「早春の森」の散策

啓蟄(冬ごもりしていた虫などが外に這い出てくるころ)の日が過ぎ、お水取り(東大寺二月堂で行われる修二会という法会の行事)も終わりました。もう、春ですね♡

春を迎えた森で、講座生はなにを感じているのかなあ〜♡





キノコの植菌

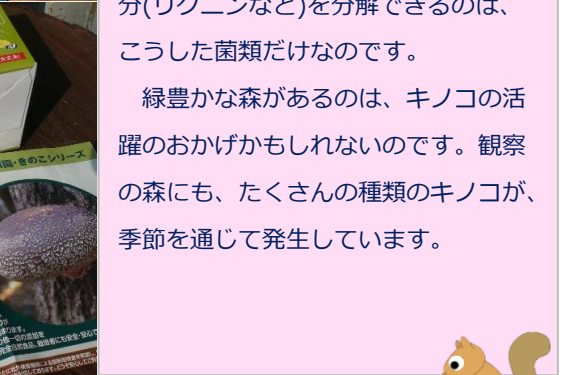
森を手入れして得られたクヌギやサクラ、アラカシの原木に、シイタケの種駒を木槌で打ち込む作業を行います。使う道具は、ビット(種駒専用のドリルの刃先)を付けた電気ドリルと木槌です。

樹の苗を植えるから=植樹
菌糸を打ち込むから=植菌
わかるかな?



キノコって、何ですか?皆さんはご存じですか?キノコは、植物でもなく動物でもありません! そうなのです、菌類に分類される生きものなのです。キノコは、地球上の生態系を維持するために非常に重要な役割を担っているのですよ♥たとえば、木の幹を構成する成分(リグニンなど)を分解できるのは、こうした菌類だけなのです。

緑豊かな森があるのは、キノコの活躍のおかげかもしれないのです。観察の森にも、たくさんの種類のキノコが、季節を通じて発生しています。



お別れの会：小山所長からのお言葉

講座生の皆さんへ、
計画通りに講座が開催できなかったことでの
お詫びと、節目としての
第8回講座が開催
できたことに感謝のお言
葉がありました。
保護者様並びにJVRサ
ポーターズの皆さまへ
は、感謝の気持ちと多
大なるご支援を賜りま
したことに、お礼の
お言葉を述べられま
した。

お別れの会：JVR代表 阿部様からのお言葉

できた〜!!!
ハイ、いいお顔!



これまでの講座を
振り返り、講座生
がそれぞれの講座
で活動したことの
実績を称えられま
した。
限られた講座の中
でも森で仲間と絆
を深めましたね♥



皆勤賞の木のメダル

ふりかえり

JVRサポーターズ様の発案で、第27期の養成講座より「皆勤賞」を設けました。コロナ禍で配慮しなければならないことが多い中、すべての講座へ参加いただいたことを称えさせていただきます。ありがとうございました♥

講座のテーマは、「森を知る」でした。私たちが当たり前のように目にする森も地球規模で見ると、ごく限られたところにしかありません。なぜ森を大切にしたいのか、その森を知るところからはじめる必要があります。この講座で知った森は、ほんの少しです。ぜひ、またお逢いしましょう♥